資料 4－1

登録記念物への登録に向けた構成要素の特定について（1/4）

1. 検討のフロー（R3）

第 1 回緑整備部会にて確認

（1）本質的価値の検討
- ・万博日本庭園の本質的価値に係わる事項の抽出
- ・万博日本庭園の本質的価値

（2）本質的価値を構成する要素抽出の考え方
- ・設計意図、作庭上のポイントを抽出
- ・スケッチや現地踏査による確認

（3）本質的価値を構成する要素の抽出結果

（4）登録対象とする構成要素の特定

第 2 回緑整備部会にて確認

2. 本質的価値の検討（前回指摘修正点）

〇万博日本庭園の本質的価値

・『日本万国博覧会（EXPO’70）の遺産としての歴史文化的価値』

- ・日本ではじめて開催された万国博における政府出展施設
- ・万国博のテーマ「人類の進歩と調和」に沿って、水の流れを主題とし、この流れに「人類の進歩」と「時の流れ」を象徴
- ・世界中から訪れる多くの人々の利用に供するため、日本庭園として画期的な広さで建設された
- ・計画当初から現代の代表的な庭園として永久に残すことを決定
- ・開催後も 50 年以上にわたり、太陽の塔などと共に当時の様子を伝え、利用に供されている

・『伝統的ならびに当時最新の日本の造園技術を結集した昭和の代表的庭園としての価値』

- ・万国博のテーマ「人類の進歩と調和」にふさわしいわが国の伝統的ならびに当時最新の造園技術の粋を集めた最高水準を目指した
  - 〈当時最新の造園技術例〉
  - 自然石を用いず大小の切石（花崗岩）を用いた、鯉池の護岸石組　など
- ・日本庭園がたどって来た各時代の特徴的手法を取り入れるとともに、全体として調和のとれた新しい時代の庭園としてまとめられている

3. 本質的価値を構成する要素の抽出結果

第 1 回部会にて示した抽出方法により、【主要構成要素】及び【関連構成要素】を抽出。

- 抽出結果　：【主要構成要素】：５８項目　（右表）
  「地形・地割」15 項目 、「園路」6 項目 、[石組・景石] 4 項目、
  「植栽」23 項目 、「建物・建物関連」9 項目 、「工作物」1 項目
  【関連構成要素】：19 項目　「園路」8 項目　、「植栽」1 項目(19 種）、「石組・景石」1 項目
  「休憩施設」 9 項目

4. 登録対象とする構成要素の特定

- 対 象 要 素：【主要構成要素】５８項目（下表）から、登録対象とする構成要素の特定を行う。
- 特定の考え方：・基本設計等資料及び現地確認で対象範囲及び箇所が特定できるもの
  ・植栽は上記に加え、「日本庭園銘木大木位置図」(公園部業務概要書-緑地編-ｓ57・3)を基に特定可能で生育良好な樹木　➡ その他樹木は保存活用計画等の策定により保存管理を行う方針とする。
- 名称について：・基本設計等資料及び当時の案内冊子「日本庭園　JAPANESE GARDEN」(S45)に示されている名称とする。
  ４号棟／正門 ➡「４号棟(中央門)」
- 登録対象要素：【主要構成要素】３７項目 「地形・地割」15 項目 、「園路」６項目 、[石組・景石] ３項目、
  「植栽」３項目 、「建物・建物関連」９項目 、「工作物」１項目

エリア	No,	分類	主要構成要素名	登録要素
1-1	1	地形・地割	北側山地	○
1-1	2		泉(岩組含)	○
1-1	3		広場	○
2-1	1		緩やかな山	○※植栽を除く
2-2	1		渓流(岩組含)	○
2-2	2		滝(岩組含)	○
2-3	1		洲浜(三つの島、石庭含)	○
2-4	1		遮蔽植樹帯(石積み、盛土含)	○※植栽を除く
2-4	2		小流(石組含)	○
3-1	1		心字池(石組、滝、池畔、中島含)※	○
3-1	2		芝山	○
3-2	1		芝山(第二山区)	○
4-1	1		鯉池(切石組、滝、護岸含)	○
4-2	1		蓮池	○
4-2	2		菖蒲田	○
1-1	4	園路	砂利敷き(全域)	○
2-2	3		飛石	○
2-3	2		八つ橋(木造橋)	○
3-1	3		石橋(2箇所)	○
4-2	3		階段	○
4-2	4		蓮池橋	○
1-1	5	石組・景石	石造りの擁壁	○
2-1	2		捨石風の石組	-
4-2	5		斜面花壇	○
4-2	6		小端積	○

エリア	No,	分類	主要構成要素名	登録要素
1-1	6	植栽	モミ密植、イヌマキ密植	-
2-1	3		クロマツの疎林	-
2-1	4		ツツジ類	-
2-1	5		ヤマザクラ、シデザクラ	-
2-2	4		ヤマモミジ(銘木)	○
2-2	5		紅葉	-
2-4	3		竹の庭	-
2-4	4		芝生	-
2-4	5		針葉樹林	-
2-4	6		ケヤキの疎林	-
2-4	7		みやぎのはぎの大群落	-
2-4	8		ツバキ林	-
2-4	9		サクラの丘	-
3-1	4		クロマツ(銘木)	○
3-1	5		モミジ(銘木)	○
3-1	6		ラカンマキ	-
3-1	7		モチノキ(銘木)	-
3-2	2		ツツジ群植	-
3-2	3		タブノキ密植	-
3-2	4		コブシ	-
3-2	5		サルスベリ	-
4-2	7		クヌギの疎林	-
4-2	8		ウツギの群植	-
1-1	7	建物・建物関連	迎賓館	○
2-1	6		茶室(汎庵、万里庵；茶庭、石階段含)	○
2-1	7		１号棟(休憩所)	○
2-1	8		２号棟(千里庵；茶庭、石積み、階段、石張舗装含)	○
3-1	8		３号棟（中央休憩所）※	○
3-1	9		４号棟(中央門)	○
4-1	2		５号棟(休憩所)	○
4-2	9		６号棟(休憩所)	○
4-2	10		７号棟(展望台含)	○
3-1	10	工作物	雪見灯篭	○

※「日本庭園　JAPANESE GARDEN」(S45)の案内名称より記載

登録対象とする構成要素の位置及び写真

■「地形・地割」

流れ

1-1-2泉

2-2-2滝

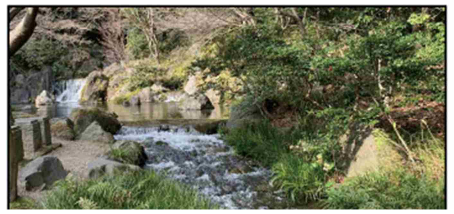
2-4-2小流

4-1-1鯉池

4-2-1蓮池

4-2-2菖蒲田

2-2-1渓流



2-3-1洲浜

3-1-1心字池

1-1-1北側山地

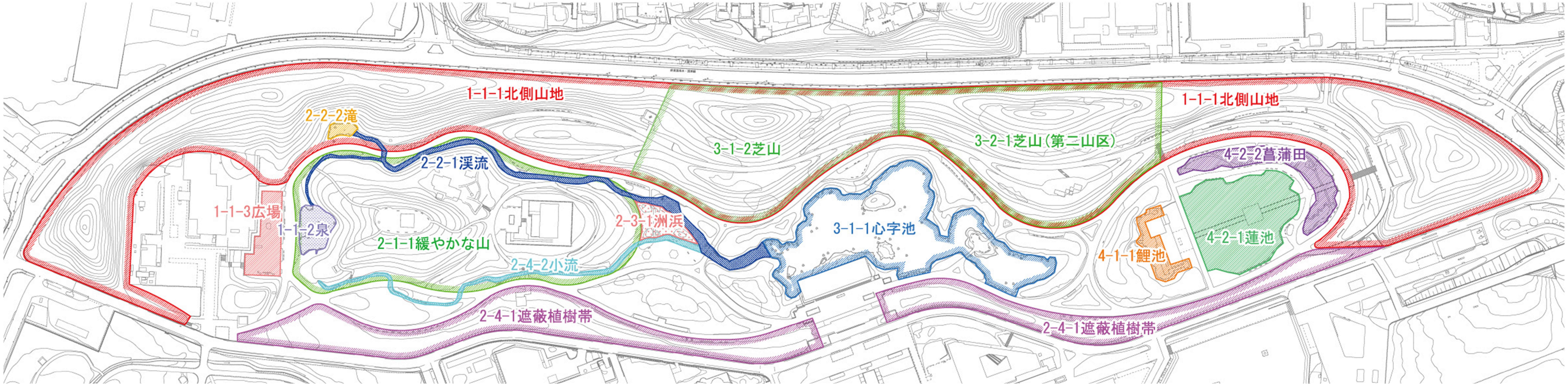
1-1-3広場

2-1-1緩やかな山

2-4-1遮蔽植樹帯

3-1-2芝山

3-2-1芝山（第二山区）

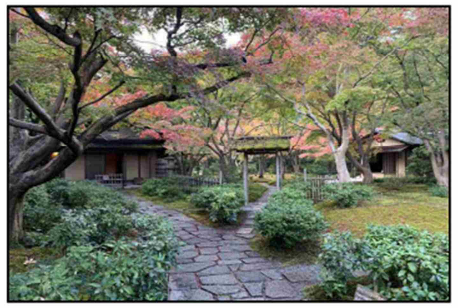


登録記念物への登録に向けた構成要素の特定について（3/4）

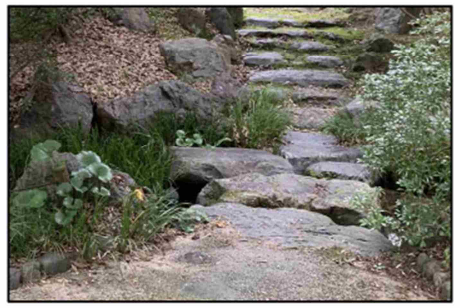
■「園路」、「石組・景石」、「建物・建物関連」、「工作物」

1-1-5石造りの擁壁

2-1-6茶室



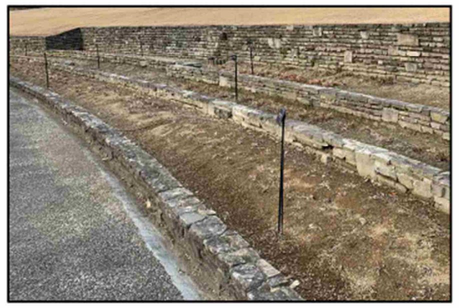
2-2-3飛石



3-1-3石橋（2箇所）

3-1-10 雪見灯篭

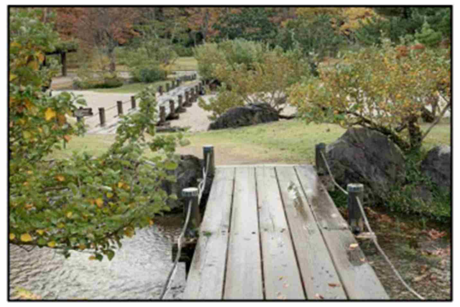
4-2-6 小端積



1-1-7 迎賓館

2-1-7 1号棟

2-3-2八つ橋



3-1-8 ３号棟

4-1-2 ５号棟

4-2-9 ６号棟、4-2-4蓮池橋

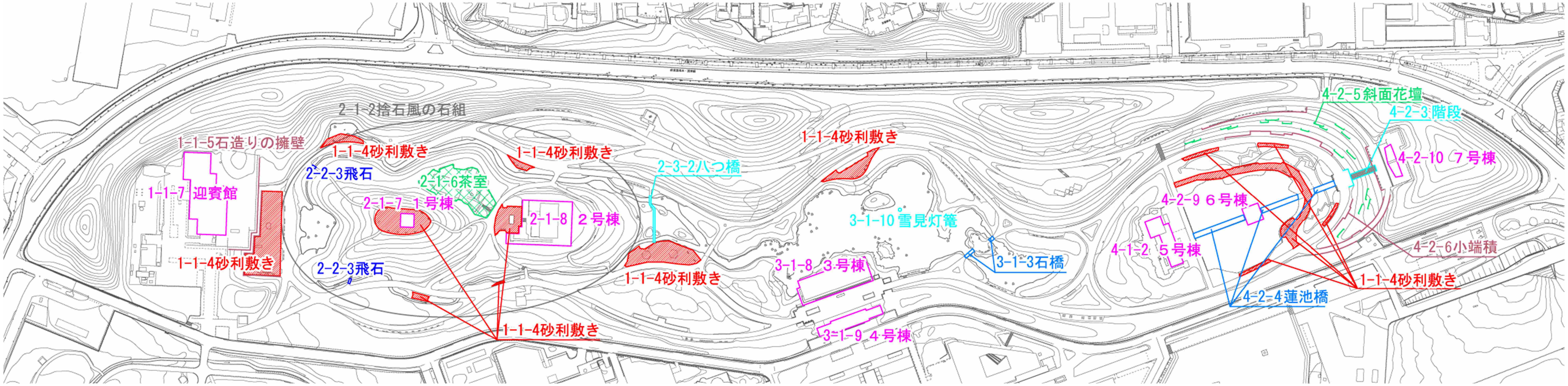
2-1-8 2号棟

1-1-4砂利敷き（計14か所）

3-1-9 ４号棟

4-2-5 斜面花壇

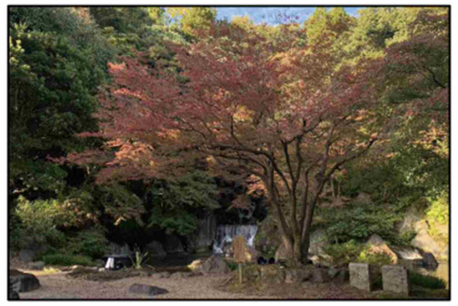
4-2-10 ７号棟、4-2-3階段



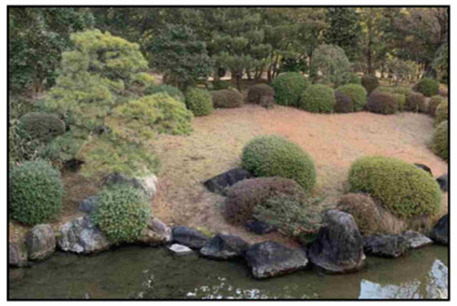
登録記念物への登録に向けた構成要素の特定について（4/4）

■植栽

滝：ヤマモミジ(銘木)



心字池：クロマツ(銘木)



心字池：ヤマモミジ(銘木)

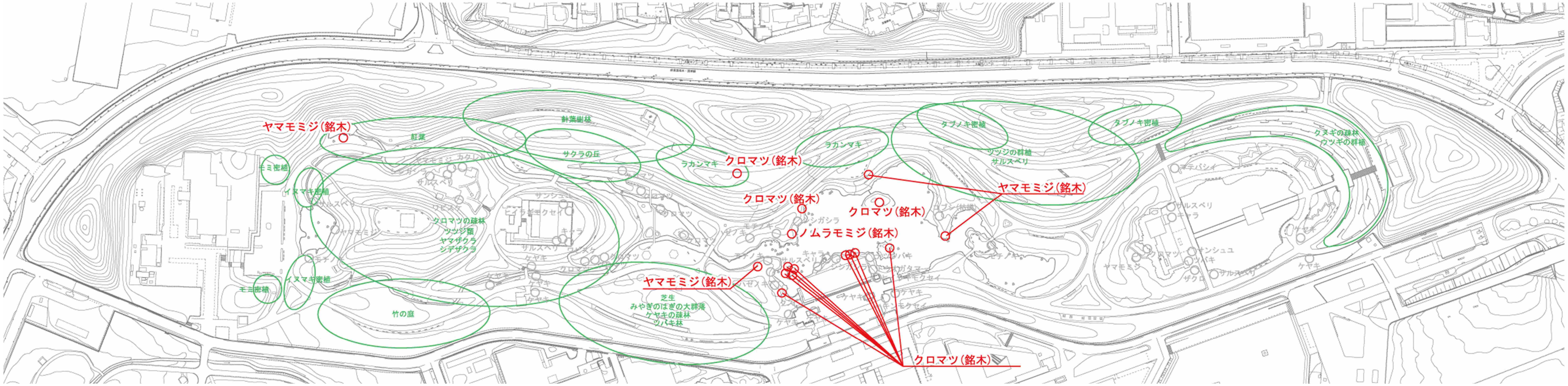
心字池：ノムラモミジ(銘木)

凡例

赤：登録対象樹木

緑：主要構成要素であるが登録対象とはしない樹木

灰：銘木・大木であるが登録対象とはしない樹木



歴史的・文化的価値の保存・活用を踏まえたバリアフリー内容の検討について（1/3）

1． 検討のフロー

第１回緑整備部会にて確認

- （１）現況の把握
  - ・既存バリアフリー計画の把握
  - ・現地調査（実施済み箇所/追加箇所）
- ↓ （２）バリアフリー化における基本的視点の設定
  - ・歴史的・文化的価値の保存・活用の視点
- ↓ （３）バリアフリー化検討箇所の抽出の考え方
  - ・基本的視点を踏まえた確認

第２回緑整備部会にて確認

- ↓ （４）バリアフリー化検討箇所の抽出結果
- ↓ （５）バリアフリー化対応策の検討
  - ・景観に配慮した工法の検討
  - ・ソフトによる対応の検討　など

2． バリアフリー化検討箇所の抽出結果

課題箇所（階段：9 箇所、勾配：6 箇所、砂利：14 箇所、段差：18 箇所、茶庭： 1 箇所、東門 1 箇所）から、バリアフリー化検討箇所を抽出。

〇抽出結果

課題箇所の半数以上は、バリアそのものが「地割」、「橋」、「岩組」、「茶庭」など【主要構成要素】に該当

① **バリアそのものが【主要構成要素】に該当** ➡ 「階段」・「勾配」＝地割 、「段差」＝橋 、「茶庭」など

対応方針① ： 原則、ハード改修によるバリアフリー化の検討対象から除外

※砂利敷きについては、砂利の厚み調整や砂利保護材などの対応を検討

② **バリアそのものが【関連構成要素】に該当** ➡ 「階段」＝石階段、 「段差」＝石縁石・石張舗装など

対応方針② ： 要素の保存を原則とし、景観に配慮し、ハード改修によるバリアフリー化を検討

③ **上記①②に該当無し** ➡当初より改修された 「階段」、「砂利敷き」、「東門」

対応方針③ ： 景観に配慮し、ハード改修によるバリアフリー化を検討

3． バリアフリー化対応策の検討

バリアフリー化の検討については、ハード面及びソフト面において、以下のとおり検討を進める。

対応方針②・③

⇒景観に配慮し、ハードによる改修を検討

① **「階段」**
② **「砂利敷き」**（上記※参照）
③ **「段差」**　（縁石による 3~8cm 程度の段差）
④ **「東門」**　（車いす未対応門扉）

＋

全箇所

⇒ソフトによる対応策検討

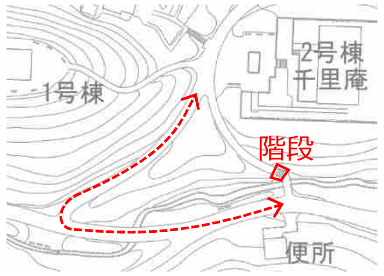
（例）仮設スロープ　電動車いすの貸し出し　など

【ハード改修によるバリアフリー化対応策の検討】

①「階段」、②「砂利敷き」、③「段差」、④「東門」について、景観に配慮したバリアフリー化対応策を検討

①　「階段」

【検証】：・「迂回路がある」 箇所
・スロープ設置などによる「景観への影響が大きい」 箇所



迂回路がある箇所

景観への影響が大きい箇所

【方針】：ハード改修を行わない。

②　「砂利敷き」

【検証】：・砂利厚が深い箇所は、車いすやベビーカーのタイヤが沈むことで円滑に移動が行えない。
・「砂利敷き」は、【主要構成要素】であり、原則、ハード改修の検討対象から除外であるが、厚みの調整など、意匠性や歩行感等を確保したバリアフリー化が可能。

検討①：**砂利厚の薄層化**
車いす及びベビーカー共に、2cm 以上の厚みがある場合、移動が困難であることを確認
※車いすによる移動は個人の能力差も大きいが、本検討では、この検証値を用いる。

厚 2cm 以下　移動可能

厚 2cm 以上　キャスターが沈む

砂利に沈む車椅子

砂利に沈むベビーカー

砂利敷き厚 2cm を基準に再調査：「砂利」の 2 箇所は厚み 2cm 以上　➡　砂利厚の薄層化

砂利-4

砂利-8

【検討②】：**砂利保護材の設置**
沈み込み防止として、砂利敷きの基盤に保護材を設置する対策。
メリット：砂利の散乱や不陸への対策ともなる。
デメリット：実施箇所が分かりにくい。
砂利被りによる機能低下や、露出による景観への影響がある。

【方針】：・砂利厚の薄層化を基本とし、砂利の厚み調整を行う。
・砂利の散乱や不陸が課題となる場合は、砂利保護材の導入検討を行う。

千里庵アプローチ施工例

製品例

③「段差」

【検証】：・バリアそのものが【関連構成要素】、「石縁石」もしくは「石張舗装」に該当
・素材そのものを変えずに段差解消が可能である為、景観への影響は比較的小さい。

玉石縁石タイプ

切石縁石タイプ

※部分改修時は、まとまった範囲での整備を行う等、庭園景観に配慮した整備が必要

継ぎはぎ状態の舗装例

・改修による景観への影響が大きく、安全面でも課題が生じる箇所

【方針】：・原則、段差は、2cm 以下となるよう、取外し再設置する。
・改修による景観への影響や安全面で課題が生じる箇所はハード改修を行わない。

4.「東門」（出口専用門）

【検証】：駐車場出入口用の車道に面しており、利用動線上、利用者が非常に少ない。
【方針】：利用動線や車道の安全対策も併せて検討した上で、景観に配慮した車いす対応門扉へと改修する。

東門（現状）

車いす対応の回転門扉イメージ

【ソフトによるバリアフリー化対応策の検討】

ハードの改修検討に併せて、以下のとおり、ソフトによるバリアフリー化対応策の検討を行う。

・対応案

情報提供：<u>バリアフリーマップ及びアナウンスによる誘導</u>

車いす利用者等がたどりつけない箇所や円滑な移動が困難な園路について、バリアフリーマップやアナウンスにより案内する。
案内する情報は以下の 3 つとする。

移動が困難な園路（ 8%超のスロープ 、 階段 ）の位置表示 ＋ 魅力的な景観の紹介 ＋ サービスの紹介

<バリアフリーマップイメージ>

利用支援①：<u>仮設スロープの設置</u>

・常設とすると庭園景観を損ねかねない　⇒　イベント時等特別な時の仮設設置
・特にイベント利用の高い「茶庭」において、導入が望ましい。

景観に馴染みやすい木製タイプ例

コンパクトに収納できる長尺タイプ例

利用支援②：<u>人的サポートによる対応</u>

・人的サポートは同伴者が行うことが前提であるが、必要に応じて、公園スタッフによる利用案内や誘導、介助等のサポートが行える体制づくりを行う。

・また、イベント時等にはイベント運営者によるサポートや、ボランティアによる対応が望まれる。

事例：伊勢神宮「おもてなしヘルパー」
車いすの介助に加え、見どころの解説等の情報サポートも行う。

利用支援③：<u>電動車いすの貸し出し</u>

・<u>庭園内の全ての「勾配」「砂利」、5cm 以下の「段差」のバリアを解消することが出来る。</u>
➡導入によっては、ハード改修箇所の軽減も可能

事例：伊勢神宮「電動車いす」
（5 cmの段差 10 度以下の勾配を自走可）

事例：京都御苑「電動アシスト車いす」
（砂利道も容易に移動可）

・ソフト対策方針（課題箇所別）

<u>課題１：「階段」、「段差」、「茶庭」、「東門」 ➡ 目的地にたどり着けない</u>
- **情報提供**　バリアフリーマップ及びアナウンスによる誘導
- **利用支援①**　仮設スロープの設置
- **利用支援②**　人的サポートによる対応

<u>課題２：「段差」、「勾配」、「砂利」 ➡ 円滑な移動が困難</u>
- **利用支援②**　人的サポートによる対応　／**利用支援③**　電動車いすの貸し出し